平成三十一年度入学者選抜学力検査問題

国語　正答・正答例及び評価基準

※字数制限のあるものは、句読点、カギ括弧等も一字に数え、字数制限に従って書いているもののみを評価の対象とする。
※漢字の表記については、手書きの楷書と認められる範囲内における形のくずれは問わない。また、異体字も正答とする。
※「正答または正答例」の欄に（例）と示されている小問の誤字、脱字、句読点や文法上の誤り等については、小問ごとに全体で一点減点とする。それ以外のものについては、誤字、脱字、句読点や文法上の誤り等それぞれ一か所につき一点の減点とする。

問題番号	小問	正答または正答例	配点 小問	配点 計	評価上の留意事項
一	(1)	①かんきょう　②てがる　③たよ　④びみょう　⑤どくじ　⑥ふさ	各1	37	
	(2)	みんなが	2		
	(3)	知識を出し入れするというだけ（十四字）	3		
	(4) A	結びつい	3		
	(4) B	発想	3		
	(5)	ア	3		
	(6) C	身体	3		
	(6) D	真新しい変数	3		
	(6) E	解釈	3		
	(7)	（例）新しい発想をしたり自分なりのものをつくったりするには、知識と経験の両方が大切だ。頭の中の知識をもとに自分の考えができ、身体の経験によって新しい着眼と解釈を得て、考えが広がったり深まったりするからだ。（九十九字）	8		・(7)については、 ・条件1～条件3を満たして解答しているものを正答とする。 ・条件1と条件3を満たし、条件2を満たさないで解答しているものは四点とする。
二	(1)	ウ	2	10	
	(2)	（例）なぜ、そう思うのですか。（十二字）	2		(2)は、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。
	(3)	生きがい	2		
	(4)	ア	2		
	(5)	イ	2		
三	(1)	①おこがましく　②おわして	各1	19	
	(2) ①	ア	2		
	(2) ②	エ	2		
	(3)	（例）山寺法師と共に修行する若い僧が食事をしていた。	4		(3)は、「若い僧が食事をしていた」と同等の内容が書かれているものを正答とする。
	(4)	（理由）刃傷ばしか（と思ったから。）	3		
	(4)	（実際）ウ	3		
	(5)	イ	3		
四		①イ　②エ　③ウ	各2	6	
五	(1)	①降　②一刻	各2	28	(1)②は、二字とも正しく書いているもののみ正答とする。
	(2)	イ	3		
	(3)	店員さんが新（〜）らなかった。	3		(3)の最後の六字は、「まらなかった」も正答とする。
	(4)	エ	3		
	(5) A	目線を合わせ	3		
	(5) B	香音のやりたいようにやってほしい	3		
	(5) C	頭をひとなで	3		
	(6)	（例）（「門へと歩き出した」より「門へと足を踏み出した」のほうが）一位になるためだけではなく、もう一度、いい音を取り戻したいという香音の決意がより強く感じられる（という効果がある。）（四十七字）	6		・(6)については、 ・(a)(a)(b)について書かれているものを正答とする。 ・(a)二つの表現を比較した「より強く感じられる」と同等の内容。 ・(b)南先生の言葉に対する香音の決意と同等の内容。 ・(a)(b)のみ書かれているものは三点とする。